

KEN TIMES

2020年 2月号

◆道祖神、ありがとうございました！

・・・感謝です。

この一言に尽きます。子どもの頃から家の目の前で行われる道祖神火祭りを何年にも渡って見てきたわけですが、「灯籠を出す側」を今回経験させてもらい、今までとは全く違う景色を見ることができました。道祖神が終わって数週間経った今、「やっぱり良かったな～」という気持ちがゆっくりと、色んな場面と一緒に湧いてきます。灯籠丸めの作業、ごちそうを用意してくれた女衆(の皆さん)、酒を飲みながらみんな唄った唄、威勢よく出発した先頭松明、天高く燃え上がる我が家ののぼり旗と灯籠…。いつも、みんなの暖かい笑顔と真剣な表情がありました。それが何よりも心に残っています。



正直、よくわからないまま事が進んでいきました。人から人、口から口で伝えられてきた伝統は、もちろんマニュアルなんてものはありません。親戚や父の同級生の「二八会」の皆さん(道祖神大好き)が、あれやれ、これやれ、と要領よく指示を出してくれるので、僕は「へ、へい！」と言われたことをやるばかり。そして夜になったら酒を呑み・・・気づいたら本番を迎えていました。でも、そうやってみんな覚えていくんですね。早く、村の先輩達のようにになりたいと思います。

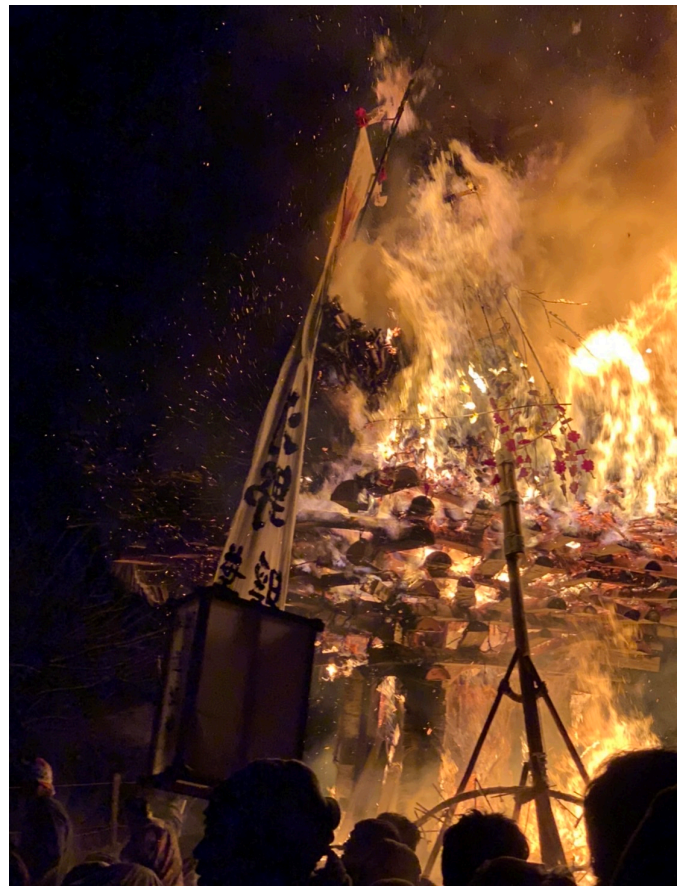
歴史的雪不足の今年でしたが、本番

の15日は野沢らしい雪の降る日となりました。神様が降りてきている証です。夕方から家の車庫でみんな酒を飲み、腹ごしらえをして、道祖神の唄を唄いながら士気を高めて・・・野沢の男としてはあれほど魂を揺さぶり、血の騒ぐものはありませんね。それから道祖神締めをして、灯籠を分解し、道中の松明に火を点け、フジヨンを出発しました。しかし同級生(心導会)のごだっぶりったら大したものですよ。30も過ぎて少しはおとなしくなったかと思えば、むしろ拍車がかかったかな！？ちょっと暴れすぎでしたね。村の皆さん、失礼いたしました。これからは普段からもあれぐらい元気よく行ってくれると思います。まあまあ、頼もしい限りですよ。



僕も、もちろん大量に酒を飲んだのですが、野沢農産の義三社長にいただいた「熊の胆(くまのい)」、あれは本当に効きますね～。記憶のない部分が一箇所だけでした。それが肝心の初灯籠火付けの部分ではありますが...。現場で特に目に焼き付いているシーンは、

道祖神太鼓です。やっぱり現場で、実際に社殿の前で演奏される道祖神太鼓は、ただただ格好良い、という言葉しか出てきません。特に今回に限っては、ある意味自分達に向けられて演奏されていますので、感動もひとしおでした。この時も確かに神様が降りてきているのがわかりました。・・・そして奉納は言うまでもありません。ベテランの二八会の皆さんを中心に、本当に



多くの方のおかげで、しっかりと力強く、真っ直ぐに社殿へと入っていきました。棟梁の「よし、入れろ！」という合図の威勢の良い様子は、今後ずっと僕の心に存在し続けると思います。子どもがずっと元気よく成長することを約束してくれるような見事な奉納でした。寺湯のクリス家の奉納も本当に見事でした(灯籠の下ではしっかり飲ませてくれてありがとう)。野沢に生きる。このことのありがたさを今回改めて実感しました。お祝いの日本酒の数にも圧倒されました。人口3500人の小さな村の祭りですが、日々



みんなに支えられながら生きている。そのことを痛いぐらいにわからせてくれる時間でした。

「サアてば友達良いもんだ」これからの人生、色々なことがあるはずですが、どんな時も、どこへ行っても、あの道祖神の火が僕の心にずっと灯っています。

最後にもう一度、皆さま本当にありがとうございました！



◆朝のしあわせ



出会いは突然でした。ウェブデザイナーの(これからHPを作ってもらおう)森澤木綿子さんのお家を出していただく珈琲がいつも絶品なのです。お話をする前に、キッチンで注ぎ口が長く曲がっているポット(わかります?)でゆっくり丁

に落としてくれているのを見ていました。感じの良寧コーヒークップに注がれた珈琲は「いただきます」と言いたくなる...何というか謙虚なんだけれど、ちゃんと存在感を持っている、そういう感じがしました。最初から最後まで、ずっと味わっていただけるおいしさです。聞いてみると、珈琲豆を挽くミルも、手挽きのものを使っていることがわかりました。僕も毎日珈琲を飲みますので、せつかくならおいしいものを飲みたいと思い、早速、長野の珈琲問屋にて手挽きのミルを購入しました。何がいいかって、ゴリゴリ挽いている時に豆が潰れていくあの感触と、その時に香る香ばしいあの匂いです。その時間も含めてのコーヒータイムですね。寝起きの頭をゆっくり目覚めさせていきます。僕がゴリゴリやっていると、やはり息子も「やりたい！」と、新しいおもちゃにもなりました。休みの日だけでもちょっとおいしいコーヒーが飲みたいと思っているあなた。これは本当にオススメです。美味しい豆を知っている方、ぜひ教えてくださいね。

◆カマクラの匂い



そう聞くと一瞬であの匂いが頭に浮かびませんか？この写真は1月6日に家の前の畑(人のお家のだけれど)で作った時のものです。考えてみると、カマクラを作ったのって何年ぶりでしょう？もしかしたら10年以上カマクラというカマクラは作っていなかったのかもしれない。湿り具合がちょうどよかったこの日は、ほんの一瞬にしてそれなりのかまくらが出来上がりました。体を折り曲げて中に入ってみると、シーンと静まり返ったあの感じと、カマクラ特有のあの匂い。懐かしいな～。ちょっとした緊張感みたいなものを感じるのは僕だけでしょうか。



もう一枚は初めて4人で滑りに行った時のものです。もちろん娘の暖はまだカカの背中ですが。寝心地は抜群です。スキーはやっぱり朝一から！というイメージがありますが、この日は15時過ぎからのスタート。柔らかい夕日の中、気持ちよく日影ゲレンデを滑ってきました。違った条件で、違った楽しみ方をできるのがスキーの魅力の1つでもありますね。楽しさ無限です。

-12・1月のお客さまの声-

【連絡先】 河野謙(こうのけん)

〒389-2502 下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi) 携帯:080-1294-5162

Mail: fat.da.sumo.ken-ken@i.softbank.jp その他 LINE、facebookのMessengerもご利用ください。

